

と き：令和3年8月26日(木)14:00～
ところ：市政記者室

■ 認知症に関する理解促進の取組について

<担当：福祉局高齢者施策部地域包括ケア推進課 電話：06-6208-8051>

【フリップ（あり）】

- ◆ 大阪市では、認知症高齢者数が、平成28年の約69,000人から、令和2年には約78,000人と増加し、今後も高齢化の進展に伴い認知症の人の増加が見込まれている。
- ◆ このように認知症は私たちにとって身近なものであり、本市や地域の認知症予防の取組みや早期発見・早期対応につなげるための様々な情報が掲載されている認知症アプリ・ナビなどを、多くの方に知っていただく必要がある。
- ◆ そうしたなか、世界各地で様々な認知症の啓発活動が展開されてる、9月の「世界アルツハイマー月間」、並びに9月21日の「世界アルツハイマーデー」に、本市においても集中的に認知症の普及啓発活動を実施する。
- ◆ まず、9月1日（水曜日）から、認知症をもっと知っていただくため、市役所や区役所において、クイズ形式で認知症を分かりやすくお伝えする動画（デジタルサイネージ）を放映する。
- ◆ また、「世界アルツハイマーデー」である9月21日（火曜日）18時から24時まで、認知症への認識を高め、認知症患者の方やその家族に希望をもっていただけるように、大阪市役所本庁舎正面玄関を認知症支援の色である「オレンジ」にライトアップする。
- ◆ そのほか、「世界アルツハイマー月間」に、複数の区役所での認知症に関するパネル展示や、広報紙への特集の掲載、地域包括支援センター等による認知症に関する川柳大会などを実施し、広く啓発を行う。詳細については、大阪市ホームページや認知症アプリ・ナビ等でお知らせする。
- ◆ 認知症になったことを隠す社会ではなく、周りに堂々と言え、希望を持って日常生活を過ごせる社会になるためには、認知症への理解を広めることが必要である。
- ◆ 大阪市では、引き続き、認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざし、認知症施策を推進していく。